

2024（令和6）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	142800021	事業の開始年月日	平成18年9月1日
		指定年月日	令和6年9月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜荏田東		
所在地	(224-0006) 神奈川県横浜市都筑区荏田東4-14-12		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員 計 18 名 ユニット数 2 ユニット	
自己評価作成日	令和6年11月	評価結果 市町村受理日	令和7年4月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

コロナ禍での入職の職員が多く、5類になり地域との交流が出来るように、を目標にするが実際には何からどう着手すれば良いかが最大の課題になっています。施設長も地域の会合に参加し各団体の長の方を紹介して頂くなど意欲的に活動を再開しています。と同時に町内の方も代替わりなどで施設の知名度も低く、まず知って頂く事からスタートしながら、施設独自の企画を平行して実施しています。ご利用者様もADLが徐々に低下し、自立歩行が難しい方も多く遠出は出来ない為、反対に地域のコンビニの方の協力で施設内でお買い物出来るように工夫して取り組んでいます。ALSOK介護独自の体操やヨガのプログラムにも意欲的に取り込み職員もヨガの指導を受け、日々ご利用者様と活動しております。今年の夏は長くとっても暑さが異常に厳しい為外での行事も制限が有りましたが、合間をみて畑での作業やガーデンでのレクに取り組んでいます。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和7年1月24日	評価機関 評価決定日	令和7年3月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は横浜市営地下鉄ブルーライン「センター南」駅から徒歩15分ほどの閑静な住宅地にあります。木造2階建て2ユニット18人定員のグループホームです。周囲は畑や都築中央公園があり緑豊かな環境です。
<優れている点>
「みんなで、元気に楽しく、共に生きる」を理念に掲げ、笑顔で笑いのある生活の支援に取り組んでいます。職員は季節ごとのイベントや多彩なレクリエーション活動に工夫を凝らし、楽しんでもらっています。コンビニエンスストアに依頼して移動販売を実施し、利用者は自分の好きなパンやお菓子を楽しんで購入しています。「食事レク」などでは、おでんや寿司などを職員が作り、利用者に好きなものを選んで食べてもらうなどの支援をしています。職員はオンライン研修で学び、介護福祉士資格を取得している職員が多数います。廊下には年間の様々な季節行事やレクリエーションの写真が掲示され、利用者の笑顔が溢れています。
<工夫点>
カーブミラーを設置して、厨房からは死角になるリビングルームの利用者の様子や、事務所からは玄関付近の様子をそれぞれ見守りが出来るように工夫しています。小学校のイベントに参加した際に、利用者宛の年賀状を児童に書いてもらい、正月に自分宛てに届いた年賀状に利用者は大喜びで笑顔が溢れています。また、災害対策用備蓄品を揃え、朝・昼・晩の献立も作成し災害に備えています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜荏田東
ユニット名	1 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある
		○	2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念を共有して実践に繋げている	「みんなで元気に楽しく、共に生きる」を理念に掲げ、利用者が安心して過ごせるように支援しています。職員は利用者が笑顔になる季節のイベントや、安心ヨガなど多彩なレクリエーションに取り組んでいます。食事イベントでは「おでん」など好きなものを選んでもらう料理にこだわり、支援しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加出来る時には参加し、散歩レクの時に行き会った住民の方と挨拶をしたり、お話ししたりしている	利用者は交代で近隣の寺に初詣に出掛けて健康祈願をしています。「散歩レク」はおやつの後、午後3過ぎから川沿いの道などに行っています。毎月の地域の清掃に職員と共に利用者も参加して地域の人々と交流しています。近隣の小学校のフェスティバルにも参加し、楽しんでいます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ブログやHPを通して地域へ発信している			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で取り組みの状況を話し合い、サービス向上に活かしている	対面で隔月に開催し、都筑区高齢福祉課職員や老人会々員、民生委員、地域包括支援センター職員などが参加して活動報告や行事連絡など意見交換しています。管理者は来年度、地域包括支援センター主催の認知症サポーター養成講座や認知症講座の講師となり、地域に貢献します。	運営推進会議への家族の参加がありません。家族会は毎年2回の開催が恒例となっていますが、運営推進会議への参加が得られるよう取り組みの強化が期待されます。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	報告書などで関係を築ける様取り組んでいる	都筑区高齢福祉課職員とは運営推進会議報告や介護度認定の相談などで連携しています。また、町内会の獅子舞など地区の行事も紹介してもらい、季節のレクリエーションを利用者は懐かしがっています。都筑区グループホーム連絡会も再開しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます	身体拘束適正化委員会は3ヶ月ごとに実施しています。職員全員が委員で、立ち上がり時に転倒の多い利用者への拘束にならない対策の検討や、車いす利用者のテーブルとの間隔など、ケアの場面での具体的な事象を話し合っています。職員は法人のeラーニング研修で学び、確認テストを受け理解を深めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修を行い、虐待をしないケアに取り組んでいます。職員間での声掛けや掲示物で虐待防止に取り組んでいます	高齢者虐待防止委員会は身体拘束適正化委員会と同時開催しています。事業所では「やさしい声かけ」に努め、スピーチロック対策では「ひと呼吸おくケア」に取り組んでいます。利用者のアザを見つけた時は写真を撮って検証し、ケアの仕方を指導しています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在成年後見人など利用している利用者はいないが、必要に応じ支援して参ります		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分に説明し、疑問点など十分な説明をし理解を得ています		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や面会時にご意向を聞きサービスへ反映させている	利用者の意見は日々、また家族からの意見は年2回の家族会や面会時、電話で聞いています。家族からは散歩の要望が多く運営に反映しています。散歩が出来ないときは庭のテラスで外気に当たったり日光浴をしたりしています。家族には利用者の動ける範囲で外出を勧めています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案を聞き、反映させています	職員の意見や提案は利用者に楽しんでもらうレクリエーションや行事についてのが大半です。特技を持っている職員が多く、事業所の庭で畑づくりをして野菜を作ったり、管理者の上司がパン焼き器を持参したりして利用者支援を工夫しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	希望を聞いたシフト作りをし、向上心をもって働ける様環境整備に努めています	管理者は働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。職員の残業は0で、有給休暇はほぼ希望の日に取得出来ています。現在、職員体制が逼迫しており採用活動に取り組んでいます。厳しい状況です。	社会の働き方の多様化に合わせた3～4時間非常勤勤務、6時間常勤勤務など短時間勤務を導入し、職員体制を早期に強化・確立することが期待されます。
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個人の適正で研修を受けられるよう取り組んでいます	法人内全職員対象の eラーニングで身体拘束・虐待防止・感染症対策・看取りなど介護の基本を学んでいます。研修内容は職員が自ら選択し、パート職員も参加しています。事業所では資格取得にも積極的に取り組み、多数の職員が介護福祉士として勤務しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内外での交流に関心を持ち、意欲的に交流の場所に参加しサービスの質の向上へ繋げたい		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	日々のコミュニケーションで、本人の安心を確保できる関係作りに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人の状態、情報の共有をし、お話しをしながら良好な関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	開始時に必要なサービスを見極め、他のサービスも受けられるような対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常の会話などから、安心して一緒に生活していると感じて頂けるよう関係作りをしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様と本人様の絆を大切にしながら、ご家族様とも情報を共有し一緒に支えて行ける関係作りに努めている		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍では出来なかった、家族以外のご友人様達とも面会出来、途切れない様な関係が築ける様努めています	馴染みの関係は家族からの情報などで把握しています。家族の了解のもと、昔馴染みの友人が来所することもあります。馴染みの美容院に行きカラーリングをする利用者もいます。スマホは不穩に繋がるため、本人に直接電話をかける事は避けるよう家族に依頼しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を考慮した食席の配置をしたり、職員が間に入り孤立しない生活がおくれるよう努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も相談や支援に努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向を確認しプランに反映させています	アセスメントや利用者の日々の生活の中で聞き取った「読書が好き、散歩したい」などを共有し、家族に本を持参してもらったり、介護計画に反映しています。言葉に表すことが困難な人は、態度や顔に現れる変化を見逃さないようにして意向を推測し検討しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々のコミュニケーションで生活歴や環境など把握できるよう努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	有する情報を共有しながら現状に沿ったサービスの提供に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	医療や家族の意見も聞きながら、現状に即した計画を作成している	家族の意向や本人の希望などを確認し介護計画を作成しています。モニタリングを短期目標の6ヶ月に1度行い実施状況や今後の対応などを評価して介護計画を見直しています。毎月ケアカンファレンスを行い、状態の変化が見られた時は介護計画を見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々変化を共有しながら計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	現在、既存のサービスで満足されているが、柔軟なサービスができるよう取り組んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源の把握をし、楽しんで生活できるような支援に取り組んでいます		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	施設往診医だけではなく、ご家族様の協力を得ながら適切な医療が受けられるよう支援しています	以前からのかかりつけ医への受診も可能ですが、現在は月2回協力医療機関の内科医と歯科医の訪問診療を受診しています。毎週、看護師と歯科衛生士が来所し健康観察などを行っています。眼科など家族が対応した受診結果は「通院報告書」で内容を共有し、支援しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護日には、利用者個々の日々の様子を伝え適切な支援が受けられるよう支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と連携し、早期退院に繋がれるような取り組みをしています		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様への説明を行ない、方針を共有しています。	契約時に家族などに「重度化した場合の対応に係る（看取り介護）指針」を説明しています。医師が回復の見込みがないと診断した際は、医師の説明のもと家族などに意向を再確認しています。事業所では看取りの研修を年2回行い、数名を看取っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	初期対応の実践力を身に付けるよう研修含め取り組んでいます		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に訓練し、災害時の訓練を行っています	夜間を想定した火災などの避難訓練を行い、消防団に訓練への参加を働きかけています。「自然災害発生時における業務継続計画」を作成し、感染症委員会の開催や研修を実施して災害のリスクを把握しています。備蓄リストや献立を作成し、迅速に備蓄品で食事を提供できるようにしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重しプライバシーを損ねない様な対応をしています	利用者への尊敬の念を大切にしています。職員間の報告や連絡は利用者の名前は言わずトイレは「10番」と決め、部屋番号を使用してプライバシーを損ねないようにしています。契約時に了解を得られた家族と同意書を交わした上で、利用者の写真をSNSや敷地内の掲示板などに掲載しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々のコミュニケーションで希望が言える環境を作り、レクリエーションで活かしています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者のペースを大切にし。希望に削った支援を心がけている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人のお好みの衣類など、その人らしい身だしなみを支援しています			
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お好みを聞きながら食事レクや誕生会などで提供できるような取り組みをしています	献立に季節行事食があり、また検食できる専門業者を選び、食品を湯煎し提供しています。職員がみそ汁とご飯を作っています。コンビニエンスストアに依頼し利用者がパンなどを選んで購入できるようにしたり、多くの利用者が好む寿司を提供する「食レク」を行い、食事が楽しみなものになるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分などご家族の協力を得ながら習慣に応じた提供を行なう、水分量の確保に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	清潔保持に努めたケアをしています		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	定時誘導や声掛けを行ない排泄のリズムを共有した支援をしています	利用者の排泄パターンを把握し、定時誘導や落ち着かない様子などを捉えて声かけし、トイレでの排泄に繋げています。立位が不安定な人は、転倒のリスクに配慮し夜間はおむつに変更しています。立位が保ち続けられるよう、リズム体操などに取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	飲食の工夫や体操で便秘の予防に努めています		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	タイミングを合わせ個々に応じた支援をしています	湯の温度や一番風呂入浴の希望に応じています。入浴を拒む人には強要せず日を変えたり「ゆ」の暖簾を下げ「源泉かけ流しですよ」などの声をかけて促しています。何気ない職員との日常会話や好みのシャンプーで香りを楽しむなど、くつろいだ気分の中で入浴できるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	状態に合わせ、休息をとって頂きながら、安眠を支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤師や看護師にも相談しながら、各自が学び自己判断しない様に支援しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の生活歴を考慮し楽しみや気分転換が出来るように努めています		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	普段は散歩など近隣へ出かけていますが、ご家族の協力や地域の型と普段行けない所へも出られるような支援を目指しています	数人に分けて近所の寺へ初詣や紫陽花を見に出かけています。おやつの後にはできる限り時間を作り、遊歩道や公園などを散歩しています。外出を好まない人は、テラスなどで外気浴をしています。家族の協力を得て買物や外食に出かけたり、自宅に帰ったり、法事に参加する人がいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の希望により購入できるよう支援をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は面会同様希望により受付ています。手紙は本人の希望により返事が掛けるような支援をしています		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	掲示物を季節の物に変えたり、手に触れられぬ物を置いたりしながら居心地のよくなる空間作りをしています	空調の温度管理や風向きに配慮し快適で落ち着いて過ごせる空間となっています。調理室や事務室からは死角になる場所が確認できるよう数ヶ所にカーブミラーを設置しています。季節行事の写真の掲示や庭のビワ、梅、畑の作物などから季節を感じています。職員は窓ガラス拭きや床のワックスがけをこまめに行い美観を保っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者間でお話しが出来るような工夫をしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族様と連携し好みの物や写真等を配置し居心地よく過ごせるような工夫をしています	事業所側でベッド、収納庫、チェスト、カーテン、寝具、エアコン、照明器具、洗面台を整えています。居室の様子は様々で、テレビや時計、家族の写真、フラワーリースなどが持ち込まれています。週1回の寝具交換時に職員が念入りに掃除をして清潔を保ち、入居者がくつろげるようにしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来る事を活かし、自立した生活が送れるような支援をしています		

事業所名	グループホームみんなの家横浜荏田東
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念を共有して実践に繋げている			
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加出来る時には参加し、散歩レクの時に行き会った住民の方と挨拶をしたり、お話ししたりしている			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	ブログやHPを通して地域へ発信している			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	報告書などで関係を築ける様取り組んでいる			
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	報告書などで関係を築ける様取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	定期的な研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的な研修を行ない、虐待防止に努めています。職員間でもスピーチロックなど話し合える環境の構築や掲示物を使用し防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	炉容赦個人個人の状態を把握し、必要に応じ活用できるよう支援致します		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分な説明をし、疑問点には十分に説明し理解・納得を得ています		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会の開催時や面会時を利用しご意見や要望の聞き取りをし運営に反映させています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案を聞き運営に帆江させている		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の希望を取り入れたシフト作りをし、向上心を持って取り組めるよう環境の整備を心掛けています		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個人の適性を考え必要に応じた研修やトレーニングが受けられるよう取り組んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現状では、社外の同業者との交流は難しいですが、社内外の交流に関心を持ち刺激を受けながらサービスの向上に取り組んでいきたい		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	日々のコミュニケーションで、本人様の安心を確保できる関係作りに努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	本人様の状態・情報を共有し家族様の不安や困っている事、要望などに耳を傾けるような関係作りに努めている。 各居室の担当の職員を配置し中心となって関係の構築に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用開始時の段階での必要なサービスを見極め、他のサービス利用も見解に入れた対応に努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常の会話などから関係性を築き、一緒に生活している仲間として安心して頂ける様に努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様と本人様の絆を大切にしながら、ご家族様と共に本人を支えて行けるような関係を築いています		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族以外のご友人様達との面会や、外出時で親族の集まりや馴染の場所へ行かれ関係が途切れない様な支援に努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食席の配置を考え、孤立しない様に努めています。利用者間でのトラブル時にも、職員が間に入る事で皆で共いのスローガンもと、支えていけるような取り組みをしています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も相談や支援が出来るよう努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向を聞き取り、ケアプランに反映しています。本人本位に考え検討しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族から聞き取りを行い、生活歴やサービス利用の経過の把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	本人の状態や有する力の現状を把握できるよう努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	医療関係者や家族などの様々な意見やアイデアを聞き取り、現状に即した計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の変化を記録に残し、職員間で共有し介護計画に見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	既存のサービスに捉われない柔軟な支援が出来るよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を把握し安全で豊かな暮らしが出来るよう支援しています		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族様の協力を得ながら、施設往診医だけではなく、専門医など適切な医療がうけられるよう支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者の様子を伝え適切な支援が受けられるよう看護職員へ繋げ細部に至るまで相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と連携し、早期退院に繋がれるような取り組みをしています		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	早い段階から方針を共有し、出来る事を説明しご理解を得ながら支援をしています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	初期対応の実践力を身に付けるよう訓練できる取り組みをしています		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的な訓練をし、災害時には昼夜問わず避難できるよう知己との協力体制を築いている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしています			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々のコミュニケーションで個々の希望が言える環境を作り、自己決定できるような声掛けを行い支援しています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その人の都合や希望を優先し、希望にそった支援をしています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お好みの衣類やおしゃれが出来るような支援をしています。化粧やネイルなどレクリエーションに取りこんでいます			
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	お好みの食事などを聞き取り、食事レクとして準備し型付けなど一緒に行えるよう取り組んでいます。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	飲食量の把握をし、個々に必要な量の確保に努めています。偏食や摂取が難しい時にはご家族と共有し支援しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	自立の方への声掛けや、介助が必要な方へは介助行ない清潔の保持に努めています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	訴えがない方へは定時誘導を行ない、失禁につながらないような支援をしています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	飲食の工夫や体操を取り入れ、便秘の予防に努めています		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	職員の都合ではなく、利用者の希望やタイミングに合わせた支援を決めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	身体の状態に合わせ休息をとりながら安心して気持ちよく眠れるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤師や看護師にも相談をしながら、介護職員は薬剤を学び自己判断せず、確認を怠らない支援をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の生活歴を考慮しながら、楽しみや気分転換が出来るよう支援し、張り合いや喜びがもてるよう支援しています		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常では近隣の遊歩道や川沿いの散策に出かけています。普段行けない所へは家族の協力を得られ自立歩行の可能な方は出かけられるよう対応しています		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭の所持は行なっていません。必要に応じ購入できるような支援は行っています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでも出来るよう支援しています。手紙も可能としています。返事が出せるようレクの一環として対応しています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	掲示物や装飾を季節の物に変えたり、手に触れる事の出来る物を置いたりしながら、居心地の良くなる空間を作っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファーに座り、気の合った型同士で談笑したり、一人で部屋で本を読まれたり居場所の工夫をしています		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家族様との連携で好みの写真や、使い慣れた物を配置されたり居心地が良くなるよう工夫をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	分かりやすく、出来る事を出来るような配置をし安全を確保しながら自立した生活が送れるよう支援しています。		

2024年度

事業所名 グループホームみんなの家・横浜荏田東
作成日： 2025年 4月 2日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	3	運営推進会議への家族の参加がありません。家族会は毎年2回の開催が恒例となっていますが、運営推進会への参加が得られるよ取り組みの強化を行う	隔月に開催される運営推進会議に、家族の参加ができるようにする	お勤めされているご家族が多く、参加できる曜日や時間の調整を行う	6ヶ月
2	9	短時間の非常勤勤務などの導入で早期に職員体制を強化・確立する	外部派遣をなくし職員体制を安定させる	働き方の多様化は事業所単位で行うことができないため、独自の友呼び制度の利用などで早急に職員を安定させる	6ヶ月
3					
4					
5					